

② 鶴小地域協働ニュース

令和4年2月7日 第1号

あったかな絆を育む共育を目指して ～地域協働学校～

学校が社会総がかりで子供を育てる拠点になる「コミュニティスクール」。学校・保護者・地域の方々がともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子供たちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める法律に基づいた仕組みです。ふじみ野市では、ふじみ野市版コミュニティスクール「地域協働学校」として、平成29年から取組が始まりました。本校は令和元年に市教委の指定を受けました。

鶴ヶ丘小学校は地域協働学校3ヵ年計画に基づいて活動しています。昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、多くの活動が実施できませんでしたが、今年度は昨年度に比べ、保護者や地域の方々に来校していただく機会が増えました。まだまだ予断を許さない状況ではありますが、あったかな絆を育む共育を目指して、今後も学校・保護者・地域が協働し、ともに歩んでいけることを願っています。

この度、「鶴小地域協働ニュース」として、令和3年度を取組をいくつか紹介いたします。学校運営協議会委員の皆様、学校応援団の皆様、保護者の皆様へ、多くの活動に対してご協力をいただきました。誠にありがとうございます。今後ともよろしく願いいたします。

<円形花壇整備>

鶴ヶ丘小学校には、職員玄関横に大きな円形花壇があります。コロナ禍以降、学校運営協議会委員や地域の皆様のご尽力により通年に渡って花壇が整備され、豊かな教育環境が維持されています。今年度の「ふじみ野市花いっぱい運動コンクール」において、本校の花壇が優秀賞をいただきました。さらに、プール前や正門前の花壇や、プール横の畑も整備していただきました。きれいな花々に子供たちも喜んでいきます。



<新体力テストボランティア>

今年度は学校応援団として、延べ140人の方々にご協力いただけることになりました。6月に実施された新体力テストでは、子供たちの新型コロナウイルス感染症対策として手指消毒や計測等のお手伝いをしていただきました。昨年度は実施できなかった新体力テストですが、子供たちは一つの種目に全力で取り組んでいました。

